

平成24年行政事業レビューシート

(文部科学省)

<b>事業名</b>	独立行政法人物質・材料研究機構施設整備に必要な経費（復興関連事業）		<b>担当部局庁</b>	研究振興局		<b>作成責任者</b>	
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成23年度		<b>担当課室</b>	基盤研究課ナノテクノロジー・材料開発推進室		ナノテクノロジー・材料開発推進室長 永井 雅規	
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	X-4 ナノテクノロジー・材料分野の研究開発の重点的推進			
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	独立行政法人物質・材料研究機構法第15条		<b>関係する計画、 通知等</b>	第4期科学技術基本計画(平成23年8月閣議決定)			
<b>事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)</b>	我が国の物質・材料研究の中核的機関である物質・材料研究機構において、東日本大震災で被災した研究施設・設備の復旧を実施し、素材産業の復興に貢献する。						
<b>事業概要 (5行程度以 内。別添可)</b>	東日本大震災によって被災した、物質・材料研究機構の研究施設・設備のうち、今後の余震等によって大幅な二次被害の拡大が想定され、早急な措置が求められる施設・設備について、業務の継続及び安全対策等の観点から必要な復旧を実施する。 特に、最先端研究の維持・発展のため外部共用施設の修繕を実施する。その他、タイル剥がれ・落下等が多数発生している外壁の修繕を実施する。さらに熱源機器冷却塔は、物質・材料研究機構が有する最先端精密計測機器の維持管理等に必要な空調機能を担っており、空調機能の停止による機器の故障等の二次被害を防ぐため、修繕を実施する。 (補助率:定額)						
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
<b>予算額・ 執行額 (単位:百万円)</b>		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	-	-
		補正予算	-	-	763	-	-
		繰越し等	-	-	▲508	508	-
		計	-	-	255	508	-
	執行額	-	-	255			
執行率(%)	-	-	100.0%				
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	震災によって被災した、物質・材料研究機構の研究施設・設備の復旧を実施		成果実績			外部共用施設、 空調制御システム 修繕、受水槽 修繕	
			達成度			-	
<b>活動指標及び 活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	被災施設・設備の整備件数		活動実績 (当初見込み)	件	-	-	3
				( - )	( 6 )	( 3 )	
<b>単位当たり コスト</b>	-		算出根拠	-			
平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	-	-	-				
	計	-	-				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	東日本大震災の被害により、物質・材料研究機構の多くの研究活動が停止せざるをえない状況であった。そのため、世界トップレベルの物質・材料研究の中核的機関である機構の研究ポテンシャル低下と産業界も含めた悪影響が懸念されていたため、優先度の高い事業といえる。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不利用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先の選定に際しては、競争性を確保するため、原則、一般競争入札としており、やむを得ず随意契約になった場合についても契約審査委員会において、契約の妥当性・適正性を審査していることから、資金の流れや用途等については合理的かつ真に必要なもののみに出が行われている。また、平成23年度から、入札を辞退した際の理由を明らかにするなどの対応を行い、より一層の競争性の確保のための取り組みがなされている。
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
活動実績、成果実績	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	余震が相次いだため、安全確認や動作確認などの作業に不測の日数がかかったことや、当初の想定とは異なる破壊状況だったため、工法の変更の必要などから、当初の計画を一部達成できなかった。一部の外部共用施設については、事故後すみやかに運用を再開し、震災前と変わらない運用を行っている。また、研究成果等のデータベースの整備を着実に進めていることから十分に施設や成果物の活用がなされている。
	△	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	△	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	△	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
－	※類似事業名とその所管部局・府省名		
点検結果	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災で被災した施設・設備については、改修計画に沿って進めているところだが、完了していない施設の復旧については、研究の停滞を招くことのないよう、平成24年度も早急かつ着実に進めていく必要がある。</li> <li>・また、支出先の選定については、競争入札における一者応札を減少させるために、平成23年度においてもより一層の競争性を確保する取り組みを行っており、引き続き「独立行政法人の契約状況の点検・見直し」(平成21年11月17日閣議決定)を踏まえ実質的な競争性が確保されるよう努めていく必要がある。</li> </ul>
予算監視・効率化チームの所見			
			<p>本事業は、東日本大震災で被災した研究施設・設備の復旧のために、平成23年度第1次及び第3次補正予算に計上された事業である。なお、本事業については、予算の一部を平成24年度に繰り越しているが、当該予算が東日本大震災からの復旧・復興のための経費であることを鑑み、引き続き早期執行に努めるべきである。</p>
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	0263、復興-0031

※平成23年度実績を記入

文部科学省  
255百万円

事業概要  
独立行政法人物質・材料研究機構に対し、施設等の  
改修更新・整備に必要な金額を交付

〔補助〕

【A】(独)物質・材料研究機構  
255百万円

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位:百万円)



**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.(独)物質・材料研究機構			A-6.日本電子(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事	改修・設置工事	104	施設修理	超高圧電子顕微鏡修理	10
業務委託	施設修理等にかかる設計および作業 工程作成業務	61			
施設修理	施設修理	51			
その他	施設修理等にかかる物品購入	37			
計		253	計		0
A-1.川本工業(株)			A-7.日本エフイー・アイ(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事	並木地区研究本館受水槽他改修工事	54	施設修理	先端TEM用設備修理	10
計		54	計		10
A-2.勝田電設工業(株)			A-8.カールツァイス(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事	千現地区精密計測実験棟空調設備復 旧工事	50	施設修理	ヘリウムイオン顕微鏡の修理	6
計		50	計		6
A-3.(株)神戸製鋼所			A-9.(株)神戸製鋼所		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
業務委託	930MHz-NMR磁石の被災状況調査、 復旧方法の設計および作業工程作成	33	施設修理	930MHz-NMR磁石の消磁	5
計		33	計		5
A-4.(株)神戸製鋼所			A-10.日本エア・リキード(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
業務委託	1030MHz-NMR設備の被災状況調 査、復旧方法の設計および作業工程 作成	28	施設修理	共用ヘリウム冷凍機復旧	5
計		28	計		5
A-5.ヤマト科学(株)					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
施設修理	FIB-SEMダブルビーム装置の電子顕 微鏡修復作業	15			
計		15	計		0

支出先上位10者リスト

A.(独)物質・材料研究機構

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	川本工業(株)	並木地区研究本館受水槽他改修工事	54	2	※
2	勝田電設工業(株)	千現地区精密計測実験棟空調設備復旧工事	50	1	※
3	(株)神戸製鋼所	930MHz-NMR磁石の被災状況調査、復旧方法の設計および作業工程作成	33	随意契約	—
4	(株)神戸製鋼所	1030MHz-NMR設備の被災状況調査、復旧方法の設計および作業工程作成	28	随意契約	—
5	ヤマト科学(株)	FIB-SEMダブルビーム装置の電子顕微鏡修復作業	15	1	※
6	日本電子(株)	超高圧電子顕微鏡修理	10	1	※
7	日本エフイー・アイ(株)	先端TEM用設備修理	10	1	※
8	カールツァイス(株)	ヘリウムイオン顕微鏡の修理	6	1	※
9	(株)神戸製鋼所	930MHz-NMR磁石の消磁	5	随意契約	—
10	日本エア・リキード(株)	共用ヘリウム冷凍機復旧	5	1	※

※同種の他の契約の予定価格を類推させるおそれがあるため非公表。